

要約版

地域連携概論

仙台青葉学院短期大学

ビジネスキャリア学科

遠藤 憲子

社会はとてつもない変化の時代に差し掛かっている

- 人生、10年後社会がどうなっているかわからない
- 30年後どうなっているのか全く想像がつかなくなってきた
- どんな原因なのか
- 身近な問題、地域の問題、世界の問題。実は繋がってる
- どうやって解決していくのか
- 私に何ができるのか。みんなでやればどうなのか

そんな渦中に私たちはどうすれば？

- とはいえ、急には変わらない、変われない
- 考え方も実行力にも個人差がある
- 自分流に、地道に前進するしかない
- 少しずつ、昨日と違うことをやってみる
- 毎日、振り返る。日記をつけてみる。自分にご褒美をあげる。
- どんな事でもかまわない。
- 10日経てば1個は10個。1センチは10センチ。
- やった人とやらない人、半年したらものすごい差が出てくる

課題解決への道のり

手順は大抵、ここから始まる

現状把握

良いところ又は問題を見つける

解決策を考える

良いところ
を
伸ばす！！

問題点を克服する。
どう説明するか。どんな
アクションにするのか。⁴

手法としては・・・

比較する

とりあえず、何かと比べてみる
似ているものと。正反対のものと

イメージしやすくする

できれば「数字」で

自分の好きな事、関心を持っているものに
問題点を「身近に」考えたい
何かに「置き換え」できないか

「自分事」にする

共感できるか。
どっちの解決策を使うのか
どんなアクションが効果的か

若者はなぜ街（都会）を目指すのか（GWと発表）

- 人口減少なぜ起こる。人口の増減を知る。自然増減と社会増減。地方から大量に若者が都会に移動していくのは、なぜか
- 貴方は卒業後、どこに住みたいか→大都会派、地方中核都市派、地方都市・町・村派？

それぞれのタイプの人の気持ちを考えてみよう！

- 理由は複数ある。分解して分類し直す。整理していく
- 自律的視点：「私なら」自らの立場で共感できるか
- 他律的視点：「出ていく人の理由」「残る人の理由」「大人たち」はどうだったのか。
- 時間経過（歴史的背景も知ろう）：ご両親の世代、その前の世代はどうだったか

本日は、七十七銀行リサーチ&コンサルティング調査レポート「宮城県から東京圏への人口流出の要因分析 — なぜ宮城県の転出超過率が高いのか」(2025)記事も参考にして考えます

[PU3MScjTZn9IBcl9qleGA20OfzIKwHLaauiigSwt.pdf](#)

東京圏への転出入等の人口移動分析概要（仙台市・男女計）（2017年）

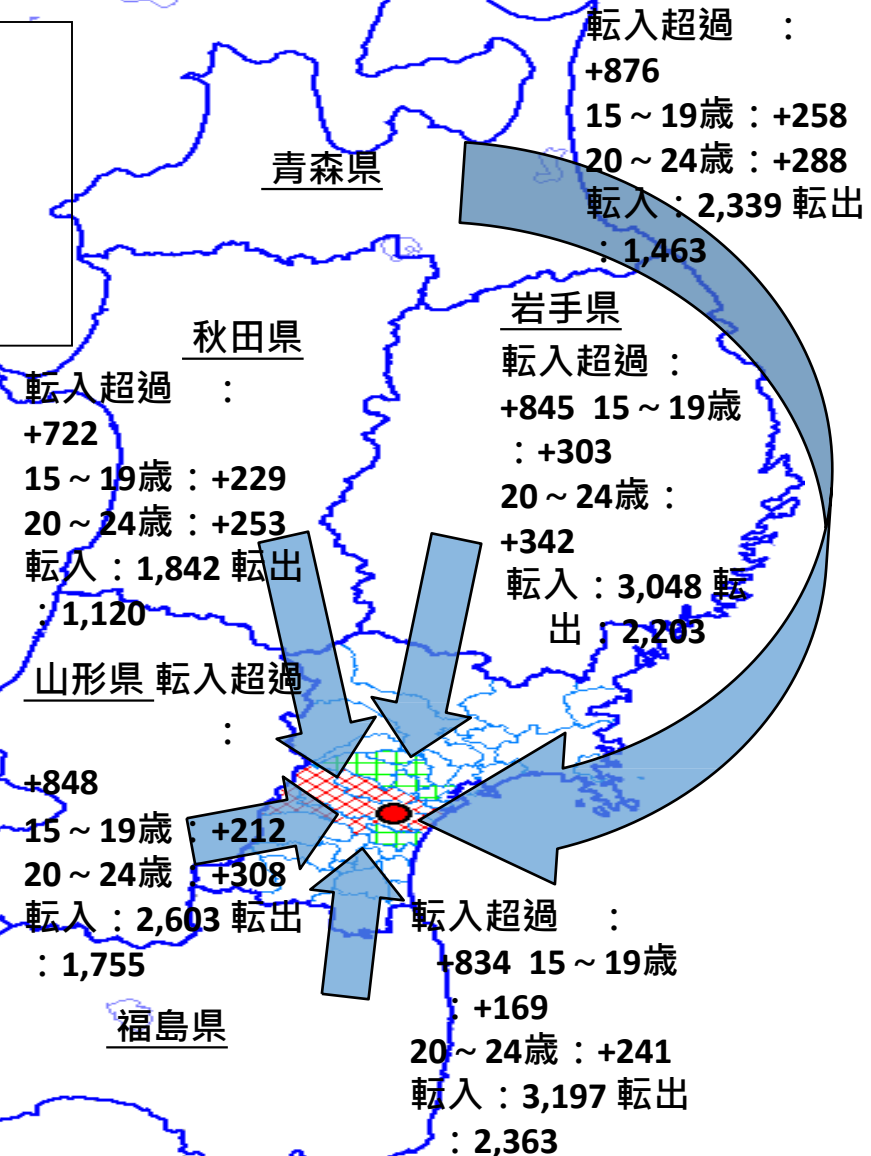
- ◆ 仙台市は全国の市区町村に対し1,724人の転入超過。
- ◆ うち、対県内が1,371人、対県外が353人。
- ◆ 対県外353人の内訳は以下の通り。
 - (1) 対東北5県（宮城県を除く）：+4,125人
 - (2) 対東京圏：△3,502人（転出超過）
 - (3) 対東北、東京圏を除く、その他のブロック（北関東含む）：△270人

東京圏
（一都三県）

その他
ブロック
東北、東京圏 を除く

転入超過 : △3,502
15～19歳 : △ 417
20～24歳 : △1,311
25～39歳 : △ 906
40～54歳 : △ 477
転入 : 10,197 転出 : 13,699

転入超過 : △ 270
15～19歳 : + 164
20～24歳 : + 125
25～39歳 : △ 248
40～54歳 : △ 168
転入 : 8,323 転出 : 8,593

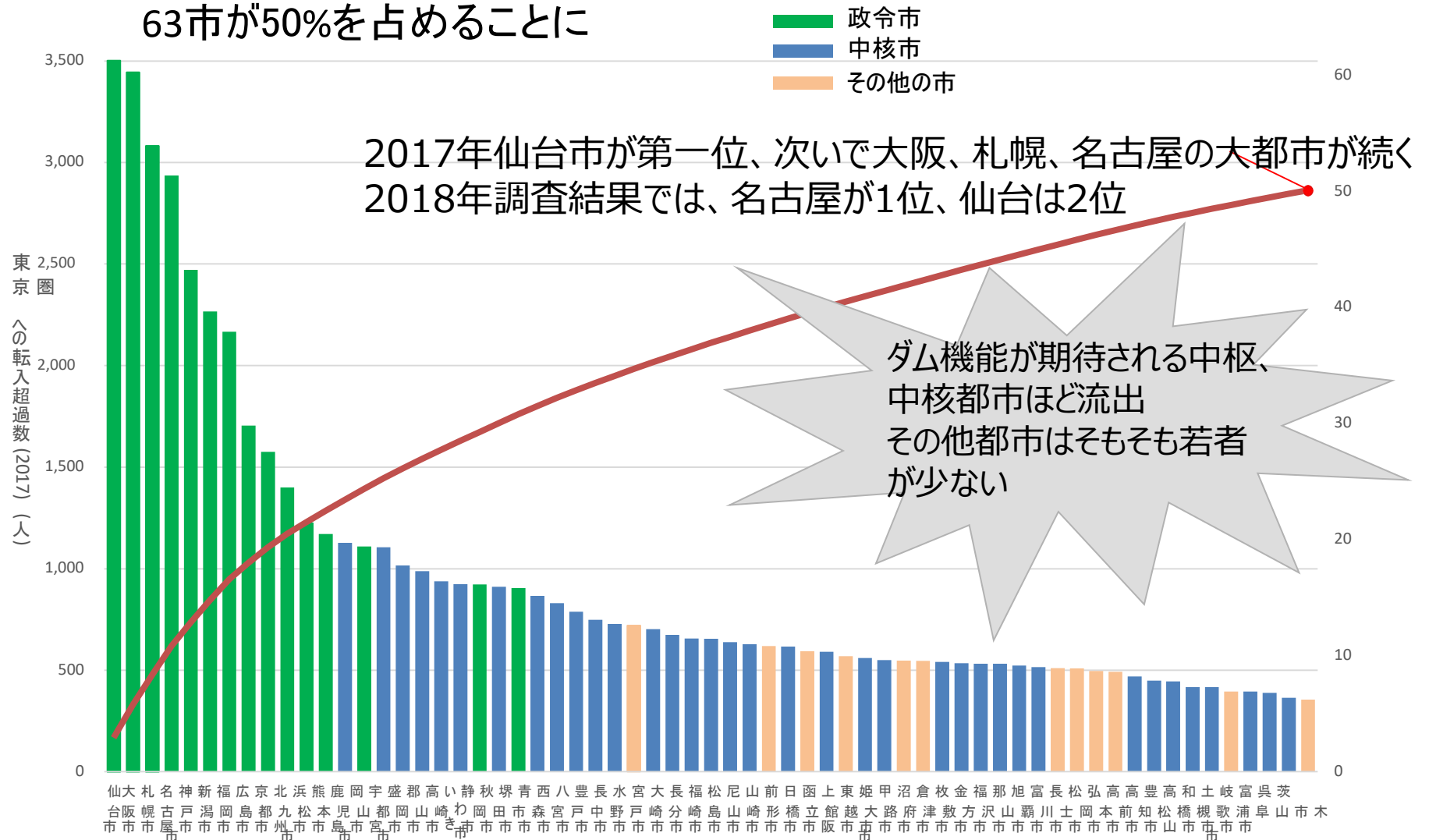


東京圏への転入超過数

市町村別内訳と累積割合（2017年 上位63市）

（内閣府第一回魅力創造有識者会議資料）

63市が50%を占めることに



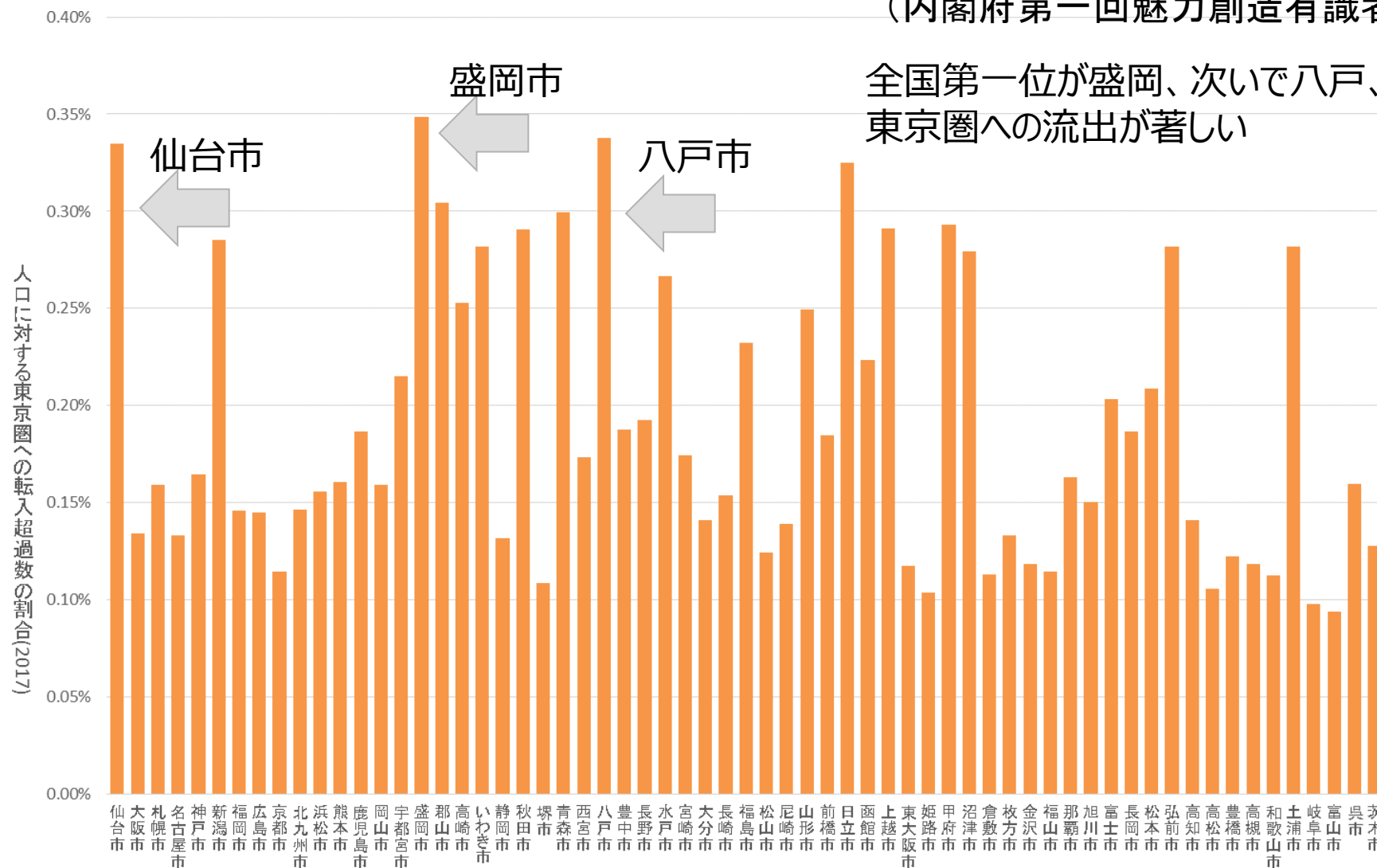
資料：住民基本台帳の人口移動のデータ(日本人人口)に基づき、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局において作成。

東京圏への転入超過数

上位63団体の人口に対する割合

2017年

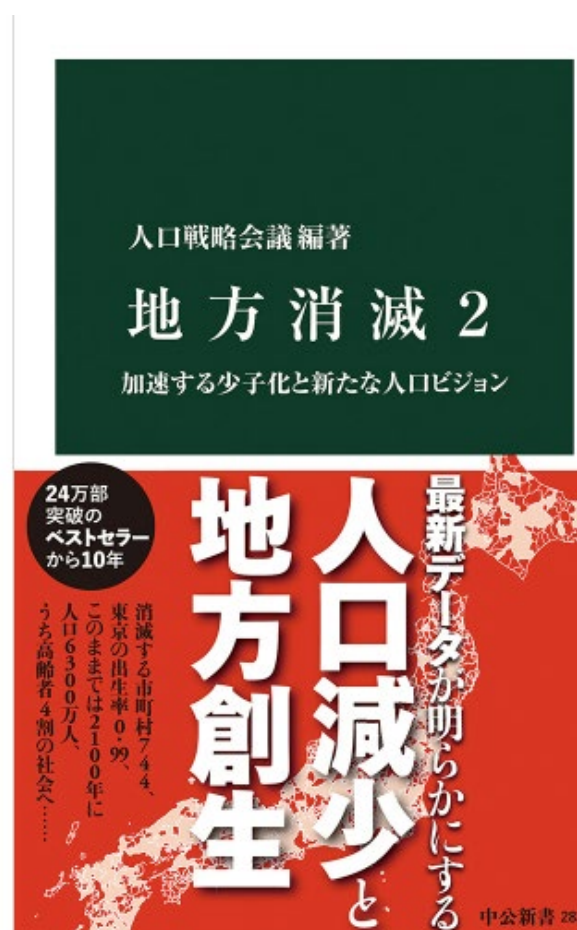
(内閣府第一回魅力創造有識者会議資料)



資料:住民基本台帳の人口移動のデータ(日本人人口)に基づき、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局において作成。
 ※人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成29年1月1日現在・日本人人口)」を用いた。

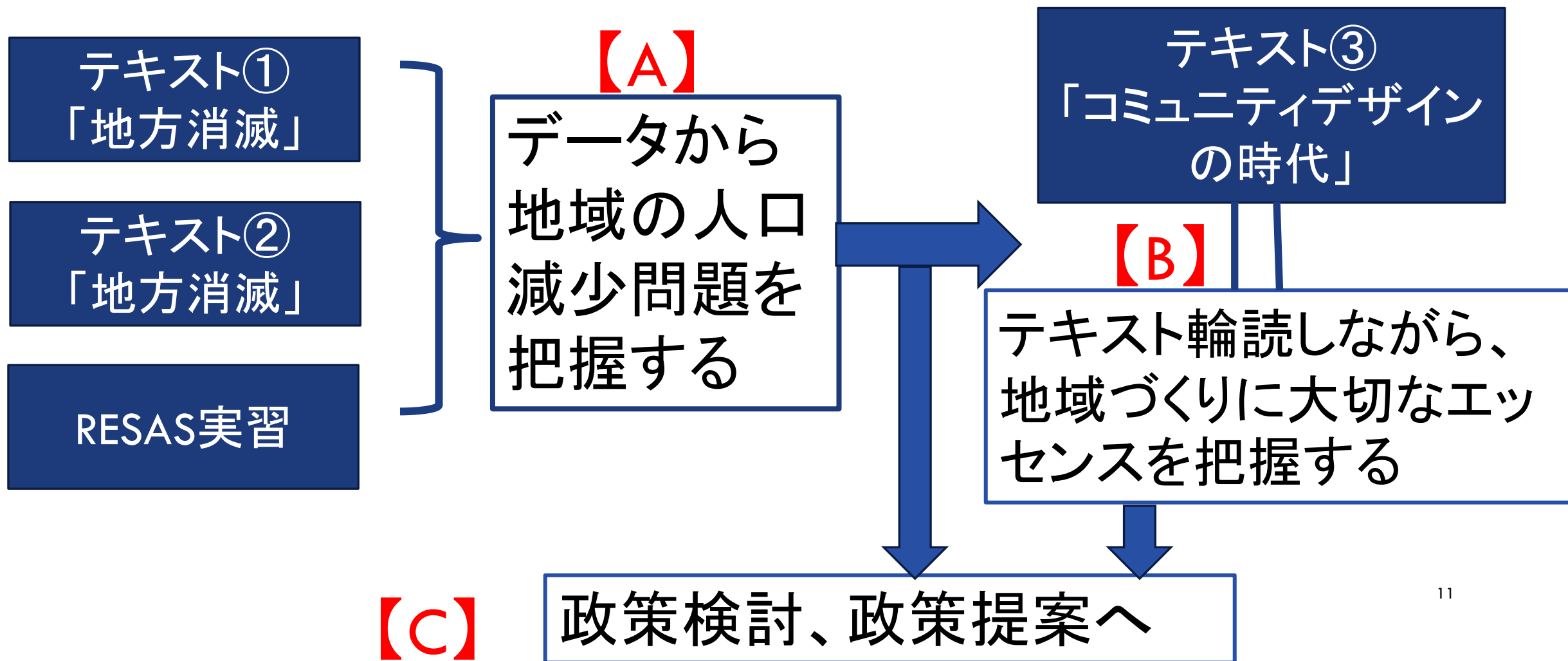
テキストについて

- ①「地方消滅」(2014)②「地方消滅2」(2024)増田寛也編著
③「コミュニティデザインの時代」(2012)山崎亮 いずれも中公新書



学修の流れ(大きく3つに分かれます)

この授業資料では、【A】から【B】の学習方法を主に解説します。



地域の人口減少問題を データで把握する

テキスト①②で議論されている人口減少問題を、

RESASのグラフを使って、具体的に確認する。

その変化は市町村によって異なる、

グラフになることで、比較がビジュアルに迫ってくる。

新しい「気づき」はないか

テキスト① 「地方消滅」 ～東京一極集中が招く人口急減～

増田寛也 編著

テキストの解説

このままでは896の自治体が消滅しかねない――。減少を続ける若年女性人口の予測から導き出された衝撃のデータである。若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果、日本は人口減少社会に突入した。多くの地方では、すでに高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増してゆく。豊富なデータをもとに日本の未来図を描き出し、地方に人々がとどまり、希望どおりに子どもを持てる社会へ変わるための戦略を考える。第8回新書大賞受賞作。

地域の人口減少問題を データで把握する

序章を読んで問題点を把握する。

208ページ以降の将来人口予測のデータを確認する。

2050年人口プラス予測の都市はどこか。自分の出身地はどうか。

県庁所在地は？人口減少がないところ、多いところはどこか。

仙台も東京も、いずれ減っていく

テキスト② 「地方消滅2」

～加速する少子化と新たな人口ビジョン～

テキストの解説

人口戦略会議 編著

2014年刊行の『地方消滅』と、そこで示した896の「消滅可能性都市」リストは、衝撃をもたらした。それから10年を経て、東京の出生率は0・99になるなど、なお少子化は加速する。このままだと2100年に人口は6300万人、高齢者が4割の国になりかねない。本書は、全国1729自治体を9つに分類。「ブラックホール型自治体」の特性なども分析し、持続可能な社会へ向かうための戦略とビジョンを打ち出す。

出典: 地方消滅2 加速する少子化と新たな人口ビジョン -人口戦略会議 編著 | 中公新書 | 中央公論新社

<https://www.chuko.co.jp/shinsho/2024/11/102830.html>よりより(2026. 05. 07検索)

地域の人口減少問題を データで把握する

テキスト①の課題提起から10年。課題整理の方法が分化された。

①人口問題を自然増減、社会増減で分けた。

②男女や年齢層に分けて考えた。

対策の効果が出て来た市町村はあるか。それはどんな対策か

序章、第一章の解説を読みながら、189ページ以降の市町村データを確認する¹⁶。

「分析」の着眼点

- データは比較しないとわからない。
- データで、一番を探す。大小、高低、両極端を見る。全体として、多いか少ないか。変化率なら、人口規模の近い市町を選んだり、観光地など共通項目で比較していくという方法も効果的。
- データの「きっかけ」を見つけたら、深掘りしていく

用語解説・表の見方

人口は、自然増減（その地域内での誕生、死亡数）と社会増減（転勤や人の移動に伴うもの）に分解できる。

テキスト②では、この2つをさらに増減幅で3分類し、合計すると9分類に分けて消滅危機との関係を整理した。

1. 自然増減の分類：その町の人口増減を自然増減の数だけで推計する（引越しが無いと仮定した「封鎖型」）

若年女性人口減少が20%未満、20～50%、50%以上に分類する。

2. 社会増減の分類：作業時点の社会増減の割合が続くと「仮定」して人口増減を推計する。

若年女性人口減少が20%未満、20～50%、50%以上に分類した

自治体の人口特性別9分類 テキスト②P17

A自立持続可能性自治体：自然減も社会減も20%以内

Bブラックホール型自治体：自然減は50%以上だが、社会減が50%以下

C消滅可能性自治体：社会減が50%以上と推計

Dその他の自治体：A～C以外。要するに自然減も社会減も20～50%と推計される自治体

その結果・・・

Aランクは65市町村しかなかった→テキスト189ページ以降の表の右端にランク記載あり。
増加例)石川県川北町 以下内閣府資料より成果説明(P214 但し前回よりデータは悪化)

[HTTPS://WWW5.CAO.GO.JP/KEIZAI-SHIMON/KAIGI/SPECIAL/FUTURE/SENTAKU/S5_7.HTML](https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/sentakus5_7.html)

以下川北町の経過解説を抜粋

1980年から2010年にかけて人口指標が伸びた市区町村は、15ある。その中で最も経済指標が高いのは石川県川北町である。

1983年以降農業を中心とした施策から転換し、工場を誘致する施策を進め、大型ショッピングセンター等も誘致した。事業所・企業統計調査、経済センサスー基礎調査による町内の事業所数は1975年に154であったが、2009年は309となり約2倍に増加している。人口総数の推移をみると1980年4,256人、1990年4,554人、2010年6,147人となっており、20年間で人口が約1.4倍となっている。

川北町では、不妊治療費助成などの町独自の子育て支援施策を行っており、少子化の歯止めにより一定の効果があると考えられる。

地域経済分析システム（RESAS/リーサス） 入 門

【資料提供・モデル講義】東北経済産業局企画調査課

**RESAS講義は、令和4年・5年度東北経済産業局のご担当様から実際に講義をいただき、
その後は資料提供・ご指導を受けながら、本学教員が引き継いで実施しているものです。**

以下のサイトには、一人で学習できる講座や解説サイトもありますので確認してください

【参考】内閣府地方創生サイト

[HTTPS://RESAS.GO.JP/](https://resas.go.jp/)

[HTTPS://WWW.CHISOU.GO.JP/SOUSEI/RESAS/INDEX.HTML](https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/index.html)

RESAS（リーサス）とは？

地域経済分析システム（2015年4月～）

～Regional Economy Society Analyzing System～

地方創生のデータ利用の「入口」として、

地域経済に関する官民の様々なデータを、

地図やグラフ等で分かりやすく「見える化」しているシステム

公的データ

経済センサス、国勢調査、人口動態調査、農林業センサス、インバウンド消費動向調査
・ etc

民間データ

携帯端末データ（NTTドコモ）、スーパーマーケット等のレジのPOSデータ（True Data）
・ etc

⇒ 各地域が、自らの強み・弱みや課題を分析し、その解決策検討を後押しするツール

RESASが変える政策のあり方

○勘や経験や思い込み（KKO）ではなく、データに基づく政策立案
（EBPM：Evidence-Based Policy Making）へ

EBPMの必要性

EBPM : Evidence-Based Policy Making

定義は “エビデンス（証拠）に基づいて、合理的な政策判断を行うこと”

根拠があいまいな勘、経験、思い込み（KKO）といったエピソードに頼ることなく、統計データを分析したうえで合理的に政策を考えていくこと

エピソード・ベース

たまたま見聞きした事例や限られた経験（エピソード）のみに基づき政策を立案

政策とその効果の分析が不十分

エビデンス・ベース

変化や差異が生じた要因についての事実関係をデータで収集・検証して政策を立案

効果のある政策を立案

メリット

①業務効率化

データをベースとするために、他者との認識の共有・説得がしやすく、意思決定スピードが向上する。議論の深掘りをすることで、より効果の高い施策が検討できる。

②費用対効果

成果の出やすいポイントに絞って、人的・資金的リソースを投じることができる。

③説明責任

数字の裏付けがはっきりしていて、ステークホルダーに対し根拠を持った説明ができる。

④効果検証

施行した後もデータに基づいて定点観測ができるため、効果の検証が容易にできる。

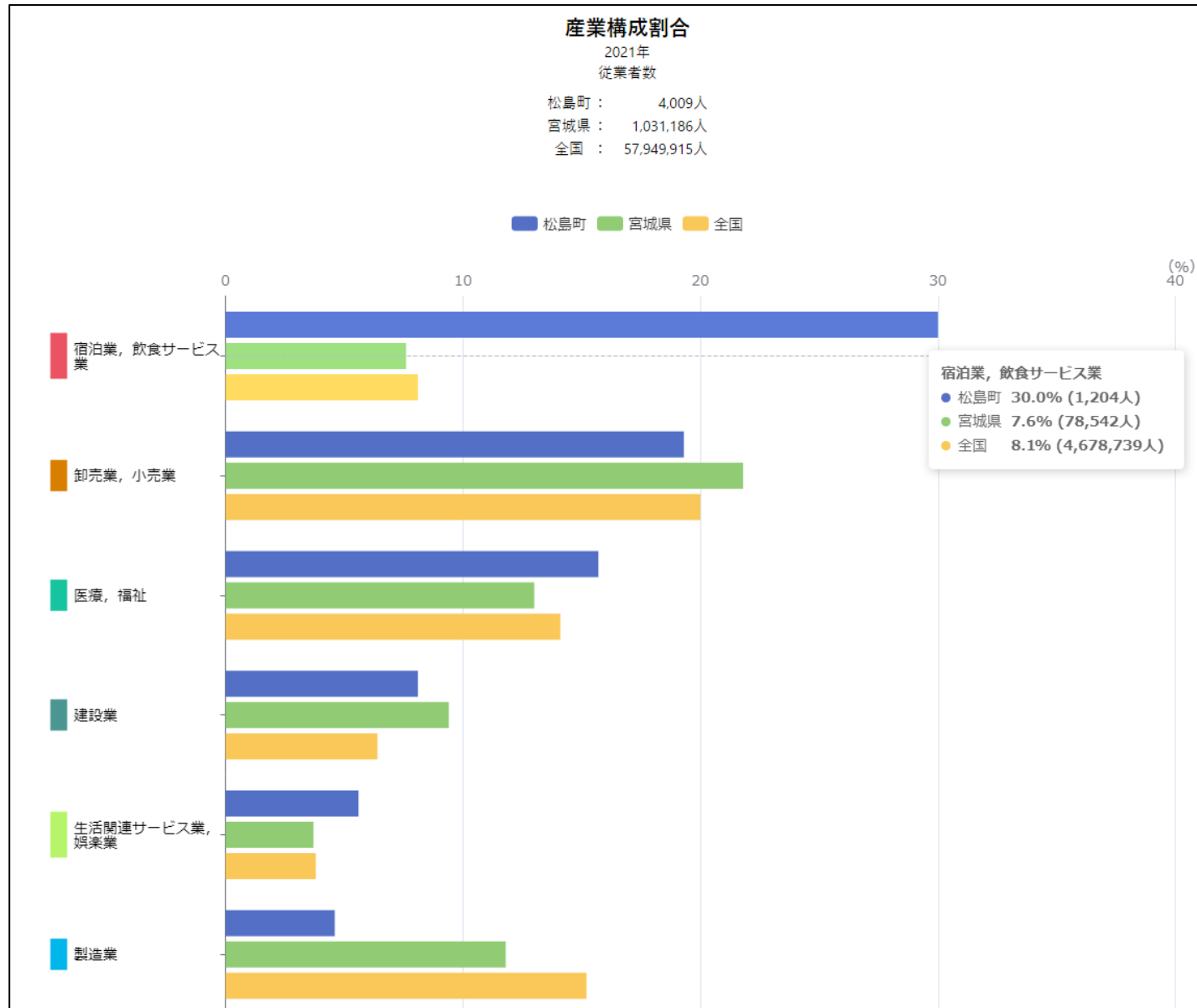
一般的なオープンデータ：このままでは、何が起きているかわからない

地域区分	産業大分類	開設時期	経営組織	経営組織	経営組織	経営組織
			0_総数	0_総数	0_総数	0_総数
			事業所数	従業者数_男女計	従業者数_男	従業者数_女
			(事業所)	(人)	(人)	(人)
04401_松島町	AR_全産業 (S_公	00_総数	520	4,009	1,868	2,141
04401_松島町	AB_農林漁業	00_総数	5	79	52	27
04401_松島町	CR_非農林漁業 (	00_総数	515	3,930	1,816	2,114
04401_松島町	C_鉱業, 採石業,	00_総数	-	-	-	-
04401_松島町	D_建設業	00_総数	60	325	249	76
04401_松島町	E_製造業	00_総数	27	186	127	59
04401_松島町	F_電気・ガス・熱	00_総数	2	8	8	-
04401_松島町	G_情報通信業	00_総数	1	1	1	-
04401_松島町	H_運輸業, 郵便業	00_総数	14	158	91	67
04401_松島町	I_卸売業, 小売業	00_総数	146	773	350	423
04401_松島町	J_金融業, 保険業	00_総数	3	55	16	39
04401_松島町	K_不動産業, 物品	00_総数	37	73	39	34
04401_松島町	L_学術研究, 専門	00_総数	6	14	12	2
04401_松島町	M_宿泊業, 飲食サ	00_総数	87	1,204	482	722
04401_松島町	N_生活関連サービ	00_総数	48	224	107	117
04401_松島町	O_教育, 学習支援	00_総数	10	59	18	41
04401_松島町	P_医療, 福祉	00_総数	36	630	188	442
04401_松島町	Q_複合サービス事	00_総数	9	43	23	20
04401_松島町	R_サービス業 (他	00_総数	29	177	105	72
04404_七ヶ浜町	AR_全産業 (S_公	00_総数	445	2,645	1,572	1,073
04404_七ヶ浜町	AB_農林漁業	00_総数	3	48	43	5
04404_七ヶ浜町	CR_非農林漁業 (	00_総数	442	2,597	1,529	1,068
04404_七ヶ浜町	C_鉱業, 採石業,	00_総数	-	-	-	-
04404_七ヶ浜町	D_建設業	00_総数	86	524	434	90
04404_七ヶ浜町	E_製造業	00_総数	23	192	100	92
04404_七ヶ浜町	F_電気・ガス・熱	00_総数	2	6	3	3
04404_七ヶ浜町	G_情報通信業	00_総数	1	1	1	-
04404_七ヶ浜町	H_運輸業, 郵便業	00_総数	27	315	263	52
04404_七ヶ浜町	I_卸売業, 小売業	00_総数	81	476	226	250

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」



RESASでデータの加工結果が見える。



RESASの特徴

長所

- ・アカウント登録や個別費用などが不要
- ・**数クリック**で様々な情報をわかりやすく見ることができる
- ・画面をスクショして、**出典を載せれば、どこに出してもOK**
- ・**手軽に分析**することが可能

短所

- ・RESASだけでデータ分析を完結することは難しい
- ・地域全体のデータが多いため、ミクロの視点での分析は難しい
- ・最新データの反映まで時間がかかる

RESASでは、**地域全体の傾向にあたりをつけることが可能**

その傾向から**気づきを得ることが重要**

さらに深掘りしたいときは、**他のデータと組み合わせる**



RESASは7マップ・37メニューを搭載

マーケティングマップ

生活用品消費分析 >

地域のスーパー、ドラッグストアのレジのPOSデータを基に、飲食料品や日用品などの購入金額や購入点数などを表示します。

滞留人口メッシュ分析 >

携帯電話のアプリ利用者の位置情報を基に、エリア内に留まっていた人口を表示したり、指定したエリアの滞留人口推移や性別構成を表示します。

事業所立地分析 >

電話帳に登録のある事業所を地図上に表示したり、指定したエリア内の産業別割合や事業所・店舗数の推移などを表示します。

生産・消費地分析 >

地域のスーパー、ドラッグストアのレジのPOSデータを基に、生産地と消費地の関係、消費地別シェアの推移を表示します。

通過人口メッシュ分析 >

携帯電話のアプリ利用者の位置情報を基に、エリア内を通過した人口を表示したり、指定したメッシュの通過人口推移や性別構成を表示します。

将来人口メッシュ分析 >

将来人口を250mメッシュ単位で表示したり、指定したメッシュの将来人口推移や指定したエリアの事業所一覧を表示します。

観光マップ

観光地分析 >

全国各地の観光地情報と事業所情報と滞留人口の3つのデータを掛け合わせて表示します。

国内観光消費分析 >

国内の観光客の消費動向を表示します。

宿泊者分析 >

指定地域への宿泊者がどの地域から多く来ているのか、性別、参加形態別、宿泊日数別の延べ宿泊者数などを表示します。

インバウンド消費分析 >

インバウンドの消費動向を表示します。

人口マップ

人口構成分析 >

人口の推移や性別年代別人口構成を、過去から2050年にかけて表示します。

自然増減分析 >

人口の自然増減の要因である合計特殊出生率や、地域少子化・働き方指標の散布図を表示します。

新卒者就職・進学分析 >

新卒者の就職・進学を契機とした地域間の流出入状況を表示します。

将来人口推計分析 >

将来の人口推移や、自然増減と社会増減が将来の人口に及ぼす影響度を表示します。

人口増減分析 >

人口増減率などを、過去から2050年にかけて表示します。

社会増減分析 >

転入・転出による人口の社会増減を表示します。

通勤通学人口分析 >

通勤や通学による日常的な自治体間移動状況を、昼間人口、夜間人口や昼夜間人口比率などで表示します。

地域人口メッシュ分析 >

総務省「国勢調査」の総人口などを500mメッシュ単位で表示します。

産業構造マップ

産業構造分析 >

業種別に企業数、従業者数、売上高、付加価値額、事業所数の産業構成や、労働生産性等の付加価値額の構造を表示します。

経営環境分析 >

業界動向（付加価値額の規模・増減）と優先的な取り組みを表示します。

地域ビジネス環境分析 >

将来の人口増減、業種別の事業所数・従業者数、民間消費流入額を表示します。

製造品出荷額分析 >

製造品別に出荷額の推移を表示します。

中小企業経営分析 >

中小企業の業種別に従業者数、財務状況、売上高、設備投資とリースの状況、海外展開と輸出の状況や売上高の内訳等の経営環境を表示します。

農林業漁業マップ

農業経営体分析 >

農業の経営体数や雇用者数を表示します。

海面漁業経営体分析 >

海面漁業の経営体数や就業人数を表示します。

湖沼漁業経営体分析 >

湖沼漁業の経営体数や従事者数を表示します。

水産加工工場分析 >

水産加工工場の工場数や従業者数を表示します。

林業経営体分析 >

林業の経営体数や雇用者数を表示します。

内水面漁業経営体分析 >

内水面漁業の経営体数や従事者数を表示します。

冷凍・冷蔵工場分析 >

冷凍・冷蔵工場の工場数や従業者数を表示します。

地域経済循環マップ

地域経済循環分析 >

地域のお金の流れを生産、分配、支出の三段階で表示するとともに、各段階におけるお金の流出・流入状況を表示します。

分配分析 >

「総所得」「雇用者所得」「その他の所得」の流出入状況などを表示します。

影響力感応度分析 >

ある産業の経済動向が、他産業の経済動向に及ぼす「影響度」や、地域全体の経済動向から受ける「感応度」を表示します。

生産分析 >

産業別の移転出入の収支状況を表示します。

支出分析 >

「総支出」「民間消費」「民間投資」「その他支出」の流出入状況などを表示します。

医療・介護マップ

医療需給分析 >

医療の需要に関する指標や供給に関する指標を表示します。

介護需給分析 >

介護の需要に関する指標や供給に関する指標、介護保険料・介護費用を表示します。

RESASの操作方法①

検索サイトで“RESAS”または“地域経済分析システム”
と検索してください (URL: <https://resas.go.jp>)



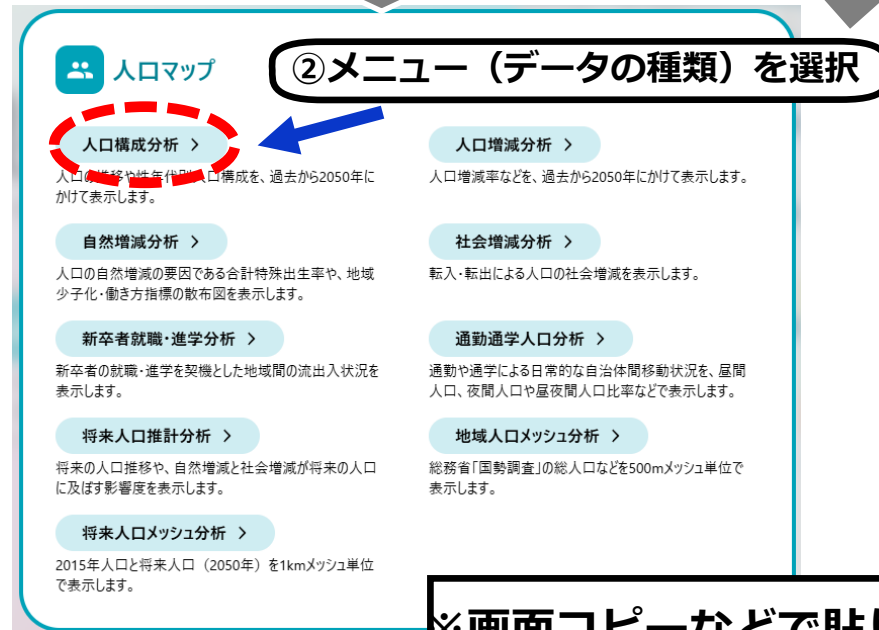
① トップ画面でいたいマップを選択



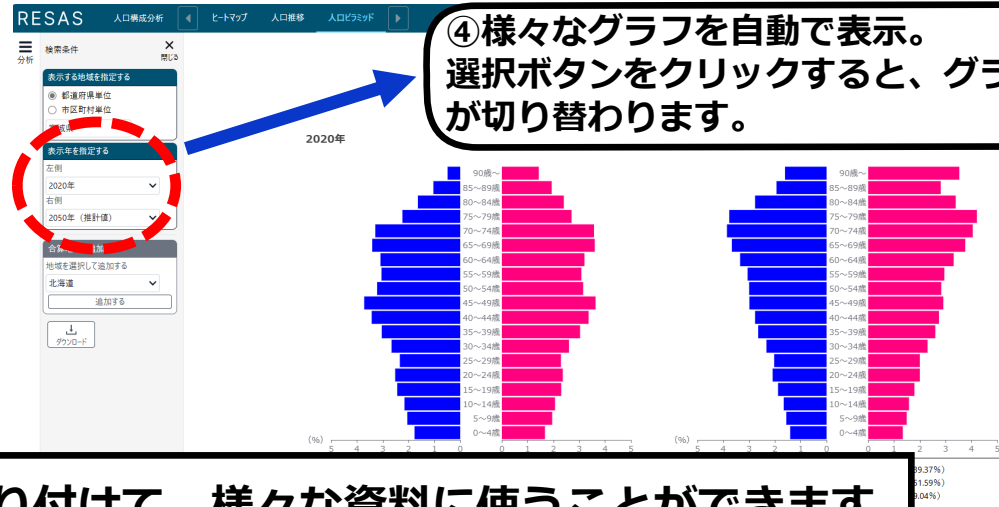
③ データを見たい 都道府県・市町村を選択



② メニュー（データの種類）を選択



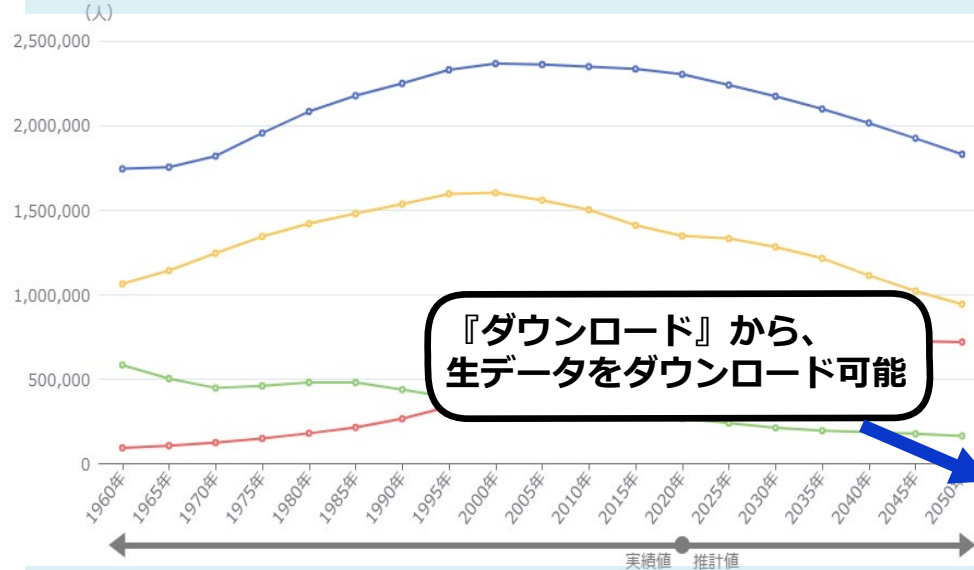
④ 様々なグラフを自動で表示。 選択ボタンをクリックすると、グラフ が切り替わります。



※画面コピーなどで貼り付けて、様々な資料に使うことができます。

RESASの操作方法②

- ▶ データをCSVファイルでダウンロードできます。



検索条件

表示する地域を指定する

- ☒ 都道府県単位
- ☐ 市区町村単位

宮城県

合算地域を追加する

地域を選択して追加する

北海道

追加する

ダウンロード

CSV形式で
生データを表示

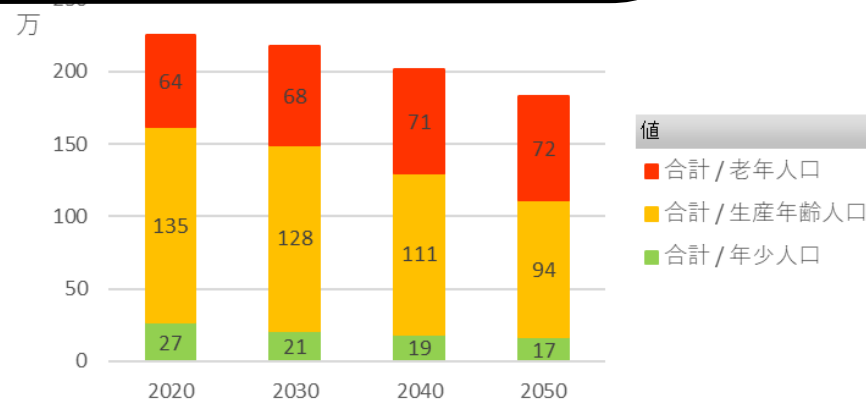
	A	B	C	D	E	F	G
1	集計年	都道府県	都道府県名	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
2	1960	4	宮城県	1743195	584497	1063732	94966
3	1965	4	宮城県	1753126	503630	1141867	107629
4	1970	4	宮城県	1819223	448834	1244711	125678
5	1975	4	宮城県	1955267	460953	1343632	150010
6	1980	4	宮城県	2082320	480552	1419497	180689
7	1985	4	宮城県	2176295	480899	1478820	215457
8	1990	4	宮城県	2248558	439313	1535449	266759
9	1995	4	宮城県	2328739	394331	1595534	337520
10	2000	4	宮城県	2365320	353516	1601826	409156
11	2005	4	宮城県	2360218	325829	1558087	470512
12	2010	4	宮城県	2348165	308201	1501638	520794
13	2015	4	宮城県	2333899	286003	1410322	588240
14	2020	4	宮城県	2301996	268428	1346845	638984
15	2025	4	宮城県	2238723	240971	1331933	665819
16	2030	4	宮城県	2172047	212949	1282071	677027
17	2035	4	宮城県	2097403	195718	1214737	686948
18	2040	4	宮城県	2014339	186922	1113482	713935
19	2045	4	宮城県	1923846	177876	1021362	724608
20	2050	4	宮城県	1829565	165421	943919	720225

- ▶ 目的に合わせてデータを加工することができます。

DLした生データは
EXCEL上で容易
に加工が可能

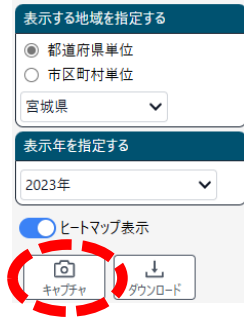
年齢区分別人口(推計)

使用目的に合わせてグラフ等に加工可能
例) 年齢区分別人口(推計)棒グラフ



RESASの操作方法③

➤ データの保存は「画面キャプチャ機能」など



● 左記以外の方法

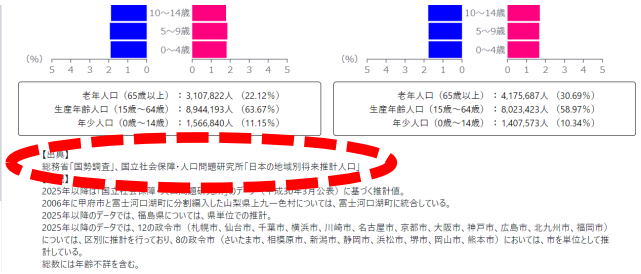
a. プリントスクリーン機能

- ① 保存したい画面を表示し「Ctrl+Prt SC」キー
- ② 「右クリック + 貼り付け」

b. パワーポイントのスクリーンショット機能

- ① 保存したい画面を開く
- ② パワーポイントで「挿入 + スクリーンショット」で切り出したい箇所をドラッグ

➤ データの引用時は「出典元を明記」



RESAS画面の下方に、出典が表示されます

ex.) 総務省「国勢調査」

➤ 合算・比較地域の登録ができます。

<合算・比較地域の登録>



②合算/比較地域の一覧をクリック

各画面で利用できる合算・比較地域を最大5件まであらかじめ登録することができます。
1つの合算・比較地域には最大30地域まで追加可能です。
(5地域以上を設定した場合、比較地域には最初に設定した5地域が追加されます。)

都道府県単位で登録する

③都道府県単位または市町村単位をクリック

合算・比較地域の登録・編集 (市区町村単位)

登録必須
選択地域

地域の選択必須
選択地域は1地域以上選択する必要があります。

登録する地域
最大30地域登録できます。

登録地域 弘前市

④合算・比較地域を登録・編集

キャンセル

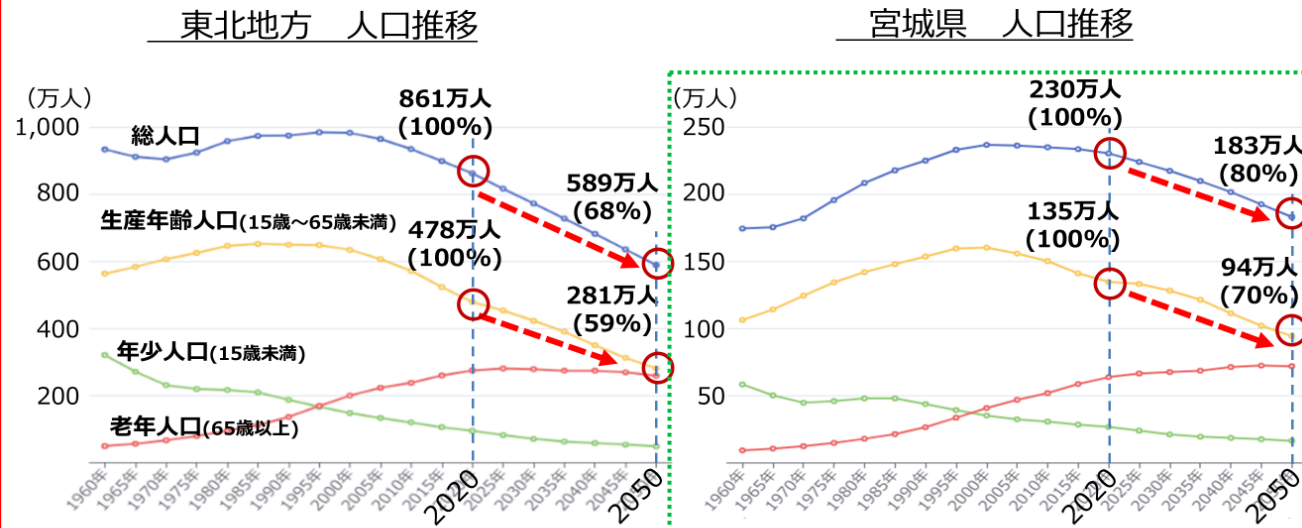
保存

【参考】本資料の見方

東北の将来の人口はどうなるのか？（解答 ②約590万人）

人口マップ → 人口構成分析 → 人口推移

➤ 人口の推移や性年代別人口構成を、過去から2050年にかけて表示



POINT >>

- 2050年の東北地方の総人口は、約861万人まで減少する。生産年齢人口でみると2050年には、2020年の人口から4割程度減少する予測である。
- 宮城県も同様に減少傾向にあるが、東北地方と比較すると緩やかに減少する予測となっている。

【出典】RESAS 総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

RESASの操作手順

表示単位

◆ 全国単位で見られるデータは「全国」

◆ 都道府県単位で見られるデータは「県」

◆ 市町村単位で見られるデータは「市町村」

RESASメニューの説明

RESASで表示したグラフ・図

※講座向けに再編加工している場合があります。

出典

データを踏まえた分析コメント

RESAS

地域経済分析システム

人口マツプ^o

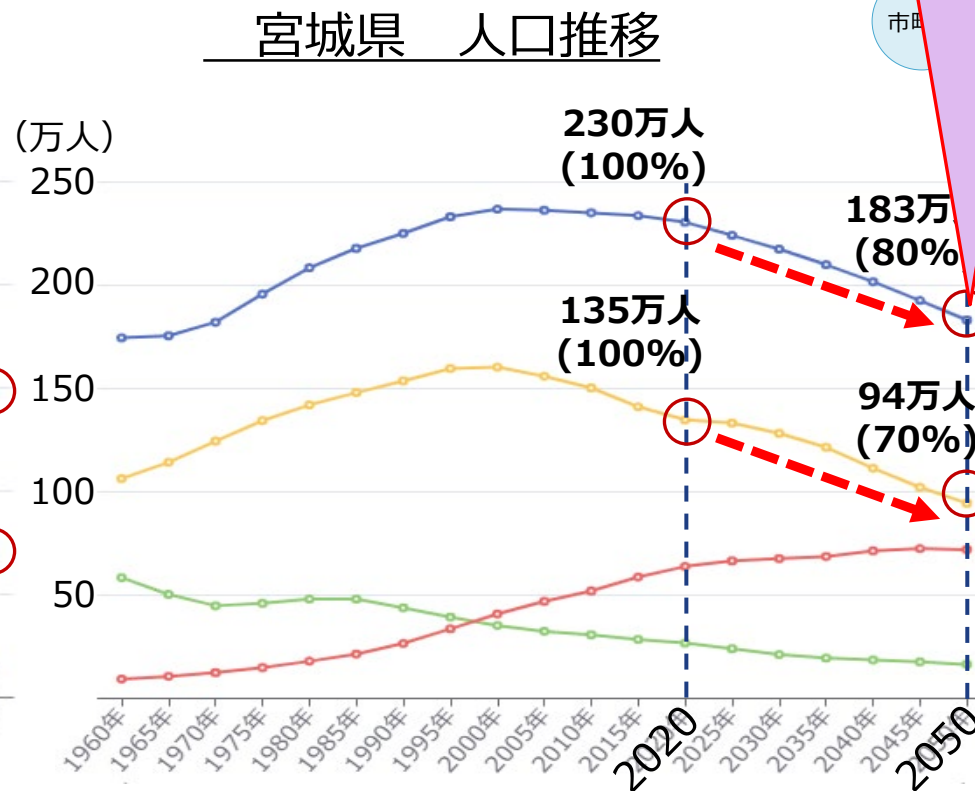
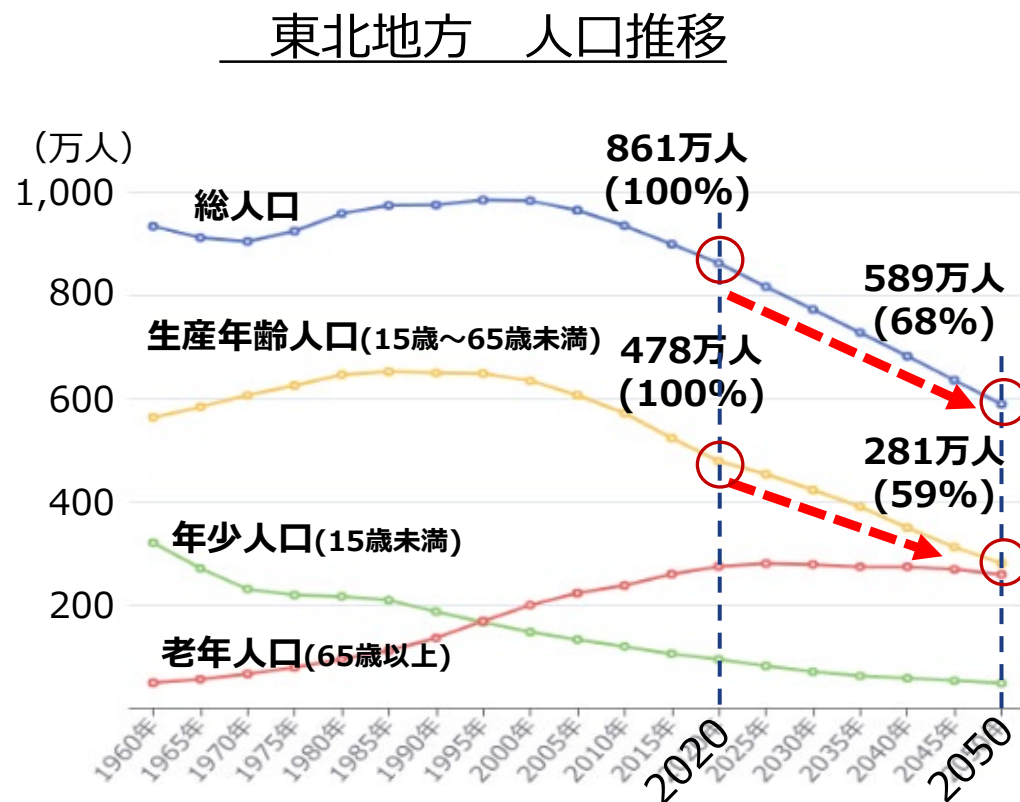
東北の将来の人口はどうなるのか？

人口マップ → 人口構成分析 → 人口推移

➤ 人口の推移や性年代別人口構成を、過去から2050 年にかけて表示

RESASの左側と上側に表示されるメニューにあるグラフを矢印の通り選択していく

グラフの線にカーソルを合わせると自動で数字が出てくる



POINT >>

【出典】 RESAS 総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

- 2050年の東北地方の総人口は、**約590万人まで減少**する。生産年齢人口で見ると2050年には、2020年の人口から4割程度減少する予測である。
- 宮城県も同様に減少傾向にあるが、東北地方と比較すると緩やかに減少する予測となっている。

宮城県の人口減少の理由は？

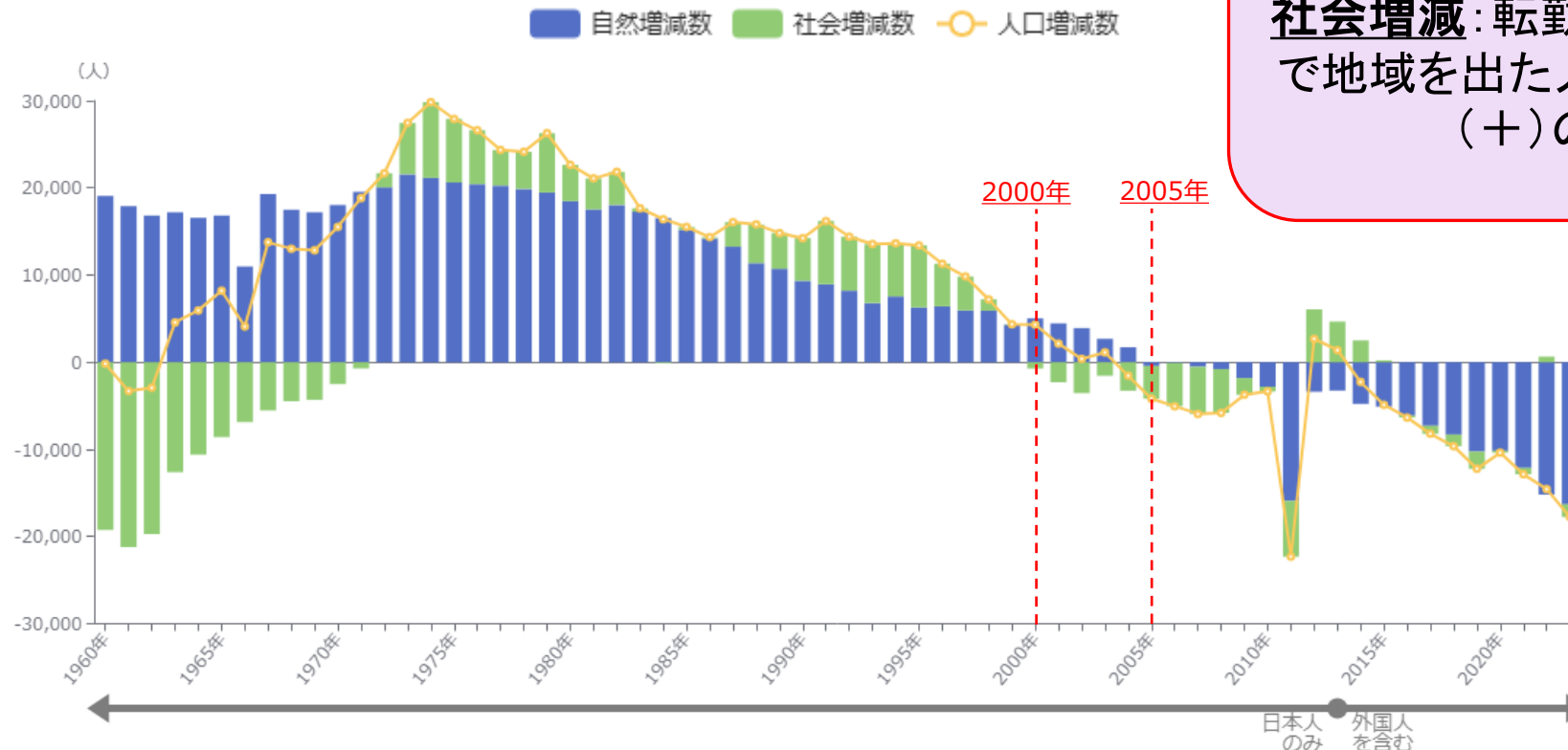
県

市町村

人口マップ → 人口増減分析 → グラフ

➤ 人口の増減の推移や内訳（自然増減と社会増減）を表示

宮城県 自然増減・社会増減の推移(折れ線)



自然増減: その地域の出産数(+)と死亡数(-)の合計

社会増減: 転勤や学校の都合で地域を出た人(-)、来た人(+)
の合計

POINT >>

【出典】RESAS 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

- 自然増減数は、**2005年以降から継続している自然減**となっている。
- 社会増減数は、**2000年から減少傾向**であり、一時は増加したが、**現在も減少傾向**である。

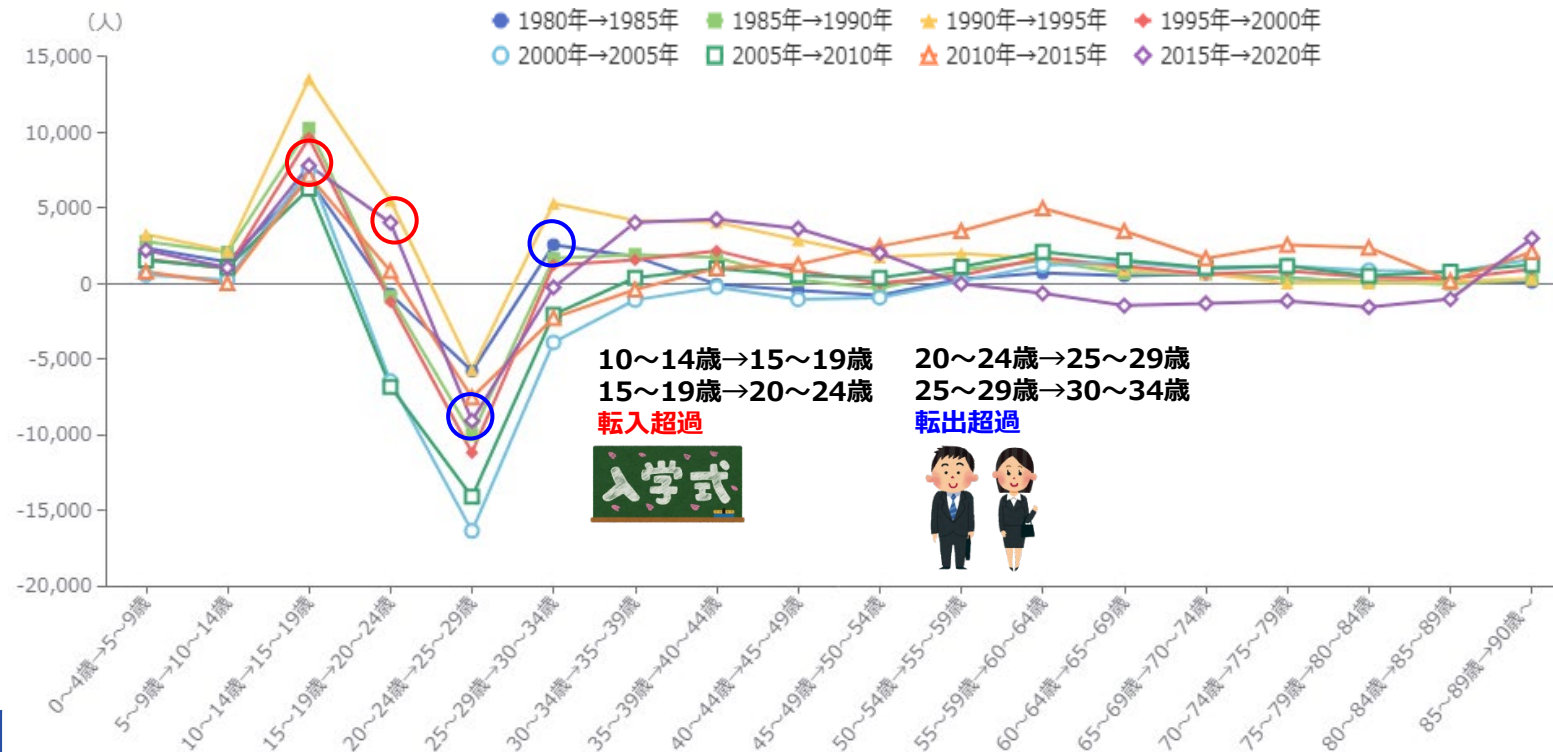
宮城県の社会増減の理由は？

人口マップ → 社会増減分析 → 人口移動（グラフ分析）

➤ 社会増減（転入数、転出数）を表示

折れ線グラフの線見方：
● は1985年調査時にどこにいたかで計算したもの。5年前の調査で他地域にいた人は＋。5年前にいて、今は別の地域にいる人は－

宮城県 年齢階級別純移動数の時系列分析



【出典】RESAS 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

- 10代前半から20代前半にかけて転入超過となっており、高校・大学進学に伴い転入する人が多いと考えられる。
- 一方、20代後半では大幅に転出超過となっており、大学卒業後の就職などで転出する人が多いと考えられる。

宮城県の社会減（20歳代）について： どこからの転入が多いのか、どこに転出していくのか

人口マップ → 社会増減分析 → From-To（定住人口）

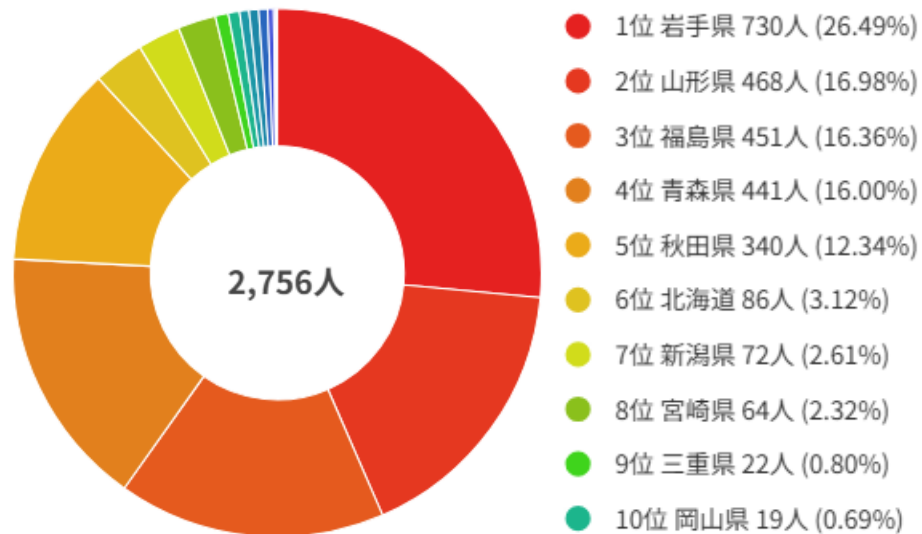
県

市町村

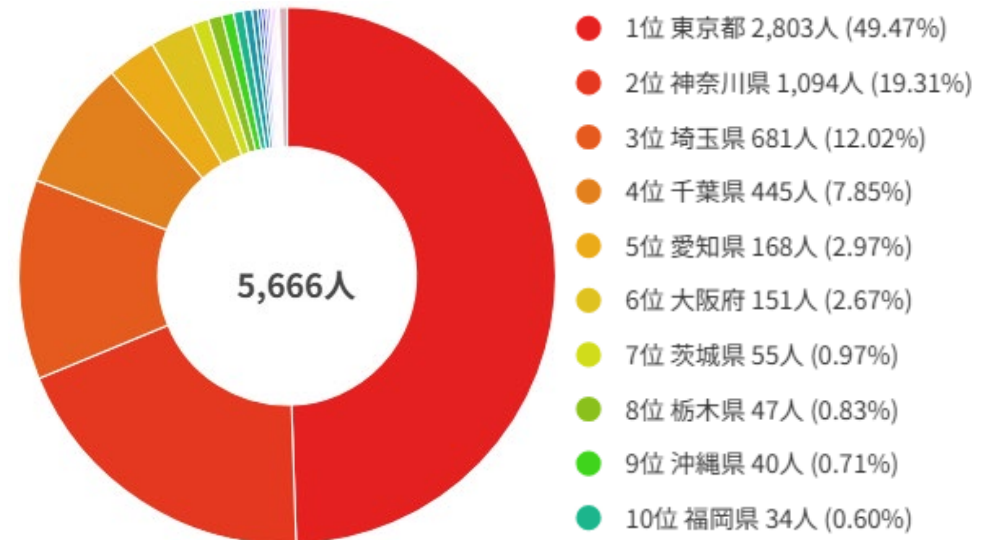
➤ 社会増減（転入数、転出数）を県毎の増減数の多い方で表示

2024年 宮城県 From-To分析（定住人口）20歳代

転入超過数内訳



転出超過数内訳



POINT >>

【出典】RESAS 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

- ・ 転入超過数と転出超過数を比較すると、宮城県の20歳代は**転出超過の傾向**にあることがわかる。
- ・ 転入超過数は**岩手県が最も多く**、次いで東北地方からの転入が多い。
- ・ 転出超過数は**東京都が最も多く**、転出先としては東京圏が上位を占めており、**東京一極集中**が読み取れる。

宮城県以外の県はだいたい同じ傾向

例：転入の一番多い岩手県の社会増減の傾向は？

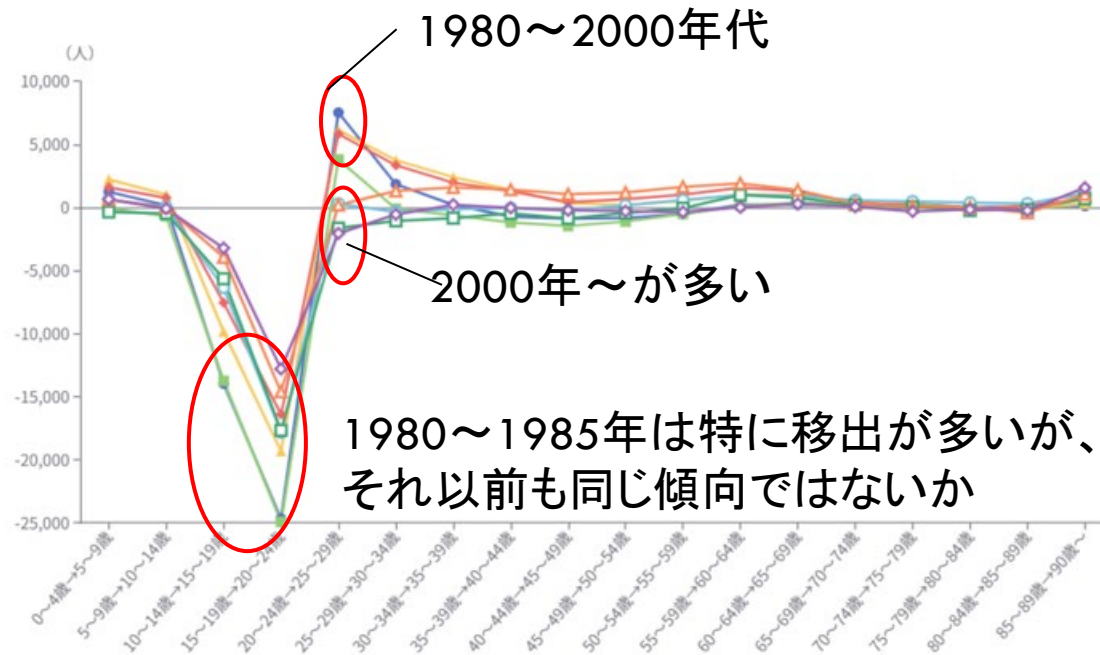
人口マップ → 社会増減分析 → 人口移動（グラフ分析）

➤ 社会増減（転入数、転出数）を表示

年齢階級別純移動数の時系列分析

岩手県

1980年→1985年 1985年→1990年 1990年→1995年 1995年→2000年 2000年→2005年 2005年→2010年 2010年→2015年
2015年→2020年



20代後半から30代人口の入超が多いのは、1980年代～2000年代。企業誘致が一定の成果を出していたと推定される。

1980年代、新幹線の開通した東北に、工場立地が相次いだ。岩手はその影響を大きく受け、20代後半～30代の移入が多いとみられる。1990年中盤からバブル経済が崩壊し、多くの工場が閉鎖していくも、関東自動車（現トヨタ自動車東日本）の工場が立地したのが、1993年であったことから、一定の歯止め効果はあったとみられる。しかし1社だけで県内人口流出の全てに影響することはできない。2000年以降は移出人口が多くなり、マイナスになっている。

【出典】

総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

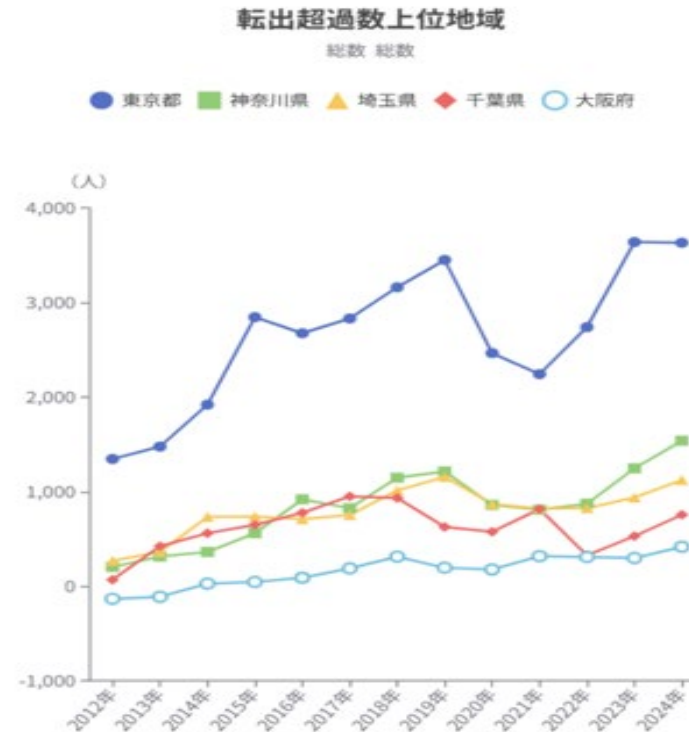
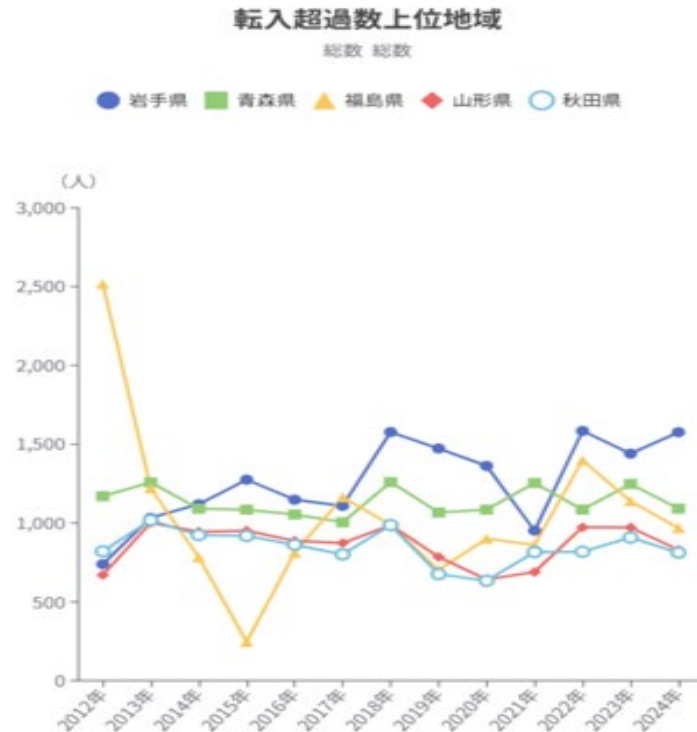
- 10代前半から20代前半にかけて**転出超過**となっており、1985～1990年が際立って多い。高校・大学進学に伴い転出する人が多いと考えられる。
- 一方、**20代後半～30代**では転入**超過になる年代が多く**、大学卒業後の就職や転勤などで転入する人が多いと考えられるが近年は転出数が転入数を上回り、減少が止まらない

POINT >>

宮城県の社会増減の傾向は？

人口マップ → 社会増減分析 → From-To（定住人口）

➤ 社会増減のうち各地域別の傾向を表示



【出典】
総務省「住民基本台帳人口移動報告」
...

POINT >>

- 単に社会増減といっても、都道府県毎に分類してみると変動は大きく、順位が変わることもある。
- 転入超過の福島県は東日本大震災及び復興状況で変動が大きいとみられる。
- 転出超過の東京都に対しては、コロナウイルス感染拡大期、転出傾向は大きく低下していた。

地方人口の減少傾向に歯止めがかからない
どうやって地方のまちを元気にしていけばよいのか

テキスト③「コミュニティデザインの時代」を読む その進め方、学修の狙い

- みんなで「輪読」する
- 事例検討 この本に出てくる事例を調べてみる
- 人口減少のどんな問題の解決策が効果があるのか
- 海士(あま)町研究

一人ひとりの主体的取り組みの重要性
多様な人々が参加していく。連携していく事の大切さを説く

テキスト③ 「コミュニティデザインの時代」

～自分たちで「まち」をつくる～山崎亮 著

孤立死や無縁社会という言葉が毎日口にされる現在の日本。今こそ人とのつながりを自らの手で築く必要が痛感されている。この時代の声に応え、全国で常時50以上のコミュニティづくりに携わる著者が初めて明かす、住民参加・思考型の手法と実際。「デザインしないデザイン」によって全員に参加してもらい結果を出すには？ 話の聴き方から服装にいたるまで、独自の理論を開陳する。ビジネスの場でも役立つ、真に実践的な書。

出典:コミュニティデザインの時代 自分たちで「まち」をつくる -山崎亮 著 | 中公新書 | 中央公論新社

42

「『コミュニティ・デザイン』の時代」 人の集まりをどう観察するか

- 集団とは、目的の有無に関係なく集まる集合体
- 特定の目標の下に集まると「組織」になる。
- 「コミュニティとは？」 コミュニティの共通の構成要素として、山崎氏は次の4つを提示する

01

地域性(領域性)

02

共同性(相互作用)

03

社会的資源、
生活環境施設
の体系

04

共通の行動を
生み出す意識
体系

「コミュニティ・デザイン」の時代 人の集まりをどう観察するか

コミュニティ発達の基礎的条件としては

- ①地域住民の親密度の高揚
- ②リーダーの質(人的資源)の確保と育成＝専従者確保の追求
- ③住民間の問題関心と認識の共有(「活動テーマの確定と自治能力の発展
- ④住民の地域参加の拡大と課題学習の継続性
- ⑤財政の確立と透明性の確保

「コミュニティ・デザイン」の時代 人の集まりをどう観察するか

コミュニティ発達の基礎的条件としては

- ⑥住民の主体性（自分が進んで何かしなければならないという意識）の高揚
- ⑦地域の文化・歴史・土地などの資源の活用
- ⑧他の多様な住民組織との連携の拡大
- ⑨広域的・国際的視野の拡大
- ⑩地域の将来像＝地域イメージの設定

先進地はどうやって再生に取り組んだのか

『コミュニティデザインの時代』
山崎 亮 2012 中公新書

輪読の方法について

「輪読」とは

人々が集まって、同じ教科書などの本を読み、その内容について意見を交わすことを意味する語。事前に決められた担当者が、本の内容を訳したりまとめたりしてから、他の参加者が理解できるように発表する形式がとられることも多い。WEBLIOより

輪読の担当になったら

1. 自分の担当部分を確認する。
2. 目次の中のどの部分かを確認する
3. 前の担当分と自分の担当部分を読む
4. 発表手段の確認(先に示される場合が多い)
 - ① POWER POINT の場合
 - ② WORDの場合
5. 担当部分の資料を作る(◎は必須)
 - ① 見出しを書き出す◎
 - ② その章の「要約」をする◎
 - ③ 大事な図表の写し書き(時間が無い、複雑な場合は、発表時に本のページ数などを記載する)
 - ④ 担当部分で書かれている他の資料などを調べて紹介する
 - ⑤ 関連しそうな事例を調べて紹介する
 - ⑥ 自分なりの結論

その1 担当する部分の項目(見出し) を書き出す

『コミュニティデザインの時代』
山崎 亮 2012 中公新書

第一章 なぜいま「コミュニティ」なのか 1. 自由と安心のバランス

- つながりが分断された社会
- つながりの中に生きる社会
- 「つながり」と「しがらみ」
- 「お客さん化」する社会
- 「活動人口」という考え方
- いいあんばいのつながり



文中にある太字の項目

その2 見出しを「要約」する

『コミュニティデザインの時代』
山崎 亮 2012 中公新書

第一章 なぜいま「コミュニティ」なのか
1. 自由と安心のバランス

「つながりが分断された社会」

をみんなで要約する(方法の確認)

要約のポイント

- 筆者の言いたいことは、最初又は最後に「まとめ」られていることが多い。
- 事例はそのまま書かない。「●●会社の事例を出して、……という事象によって、××ということを述べようとしている。」など簡単にまとめる。
- 主語と述語はつながっているか。気を付ける
- 主語と述語の間に、説明節をいれると、わかりにくくなるので注意。
- どんな時にも 文章には流れがある。

例 序論→本論→結論、 起・承・転・結

- 「要約」は書いてあることを短く整理するものなので、読んだ感想や自分の考えは入れない。書くときは、要約とは別に、「感想」等明記して分けて書く

第1パラグラフ(第1段落)

【手順1】重要と思える文や単語にラインマーカー等で印をつける

「孤独死なんて毎月ありますよ」とマンション管理会社の社員は軽く笑いながら話した。この会社、都内にかなり多くの管理物件をもっているそう。そのいずれかから、毎月のように孤独死の報告があるという。彼もかつては報告があるたびにショックをうけていたのかもしれない。ただ、その時僕の前にいる彼は、薄笑いをつづけたまま、毎月発生する孤独死のことを語った。その異常な事態をわらいとばすことでしか自分の精神状態を保ったまま仕事ができない、ということなのかもしれない。理由はどうであれ、こんな社員を生み出してしまうような社会はどこか間違っている、と感じた。

よくあるケースと
言いたいため

どんな社員？

第1パラグラフの例

【手順2】印をつけた文章や単語を集めてつなげる

- ・ マンション管理会社の社員は、都内にかなり多くの管理物件をもっているそう
うだ。毎月のように孤独死の報告があるという。薄笑いをつづけたまま、毎月
発生する孤独死のことを語った。理由はどうであれ、こんな社員を生み出し
てしまうような社会はどこか間違っている



マンションの説明を前に出して主語と述語を近づける

- ・ マンション管理会社の社員は、都内にかなり多くの管理物件をもっているそ
うだ。毎月のように孤独死の報告があるという。薄笑いをつづけたまま、毎月
発生する孤独死のことを語った。理由はどうであれ、こんな社員を生み出し
てしまうような社会はどこか間違っている

要約の例

【手順3】通りを良くする。主語と述語を近づける。重複、形容詞等をできるだけ省くが、省きすぎると意味が分からなくなるので注意

- 「孤独死なんて毎月ありますよ」と、都心にかなり多くの管理物件をもっている不動産業の社員が、薄笑いを続けたまま語った。こんな(社員を産み出すような)社会はどこか間違っている

第2パラグラフ(第2段落)

マンションによっては壁の厚さが20センチしかない場合もある。壁にもたれながらテレビを見ている。その背景のわずか20センチ隣に、亡くなってから3カ月も気付かれずに放置されている老人が横たわっている。それに気づかず生活し続けられてしまうというのは、つながりのなさもここに極まれり、という気持ちにさせられる。わずらわしい人とのつながりはないほうがいいとはいえ、ほとんどの人がここまでつながりが分断された社会を生きたいと望んではないだろう。

第3パラグラフ(第3段落)

20センチお隣の「孤独死」にきづかないような

人とつながりにくい社会になったのか。確かにそういう側面もあるだろう。ただし、現代でもその気になれば人と人が知り合い、協力して物事に取り組む機会はある。なくても創り出すことはできる。特に人口減少時代には、そのきっかけが増えるだろうし、ふやさなければならぬと感じる。

全体のまとめの文章になっている

【疑問点】

……でもなぜ人口減少時代に、その「きっかけ」が増えるの？

その2 見出しを「要約」する

『コミュニティデザインの時代』
山崎 亮 2012 中公新書

第一章 なぜいま「コミュニティ」なのか 1. 自由と安心のバランス

完成見本例

つながりが分断された社会

【要点】

- 都市では隣人の孤独死に気づかない関係が増加している。
- 私たちはこんな社会を望んでいたのか？
今こそ、人のつながりを創る努力が必要である。

先に要約を作って
要点を作成する

第1段落目

- 「孤独死なんて毎月ありますよ」とは、都心にかなり多くの管理物件をもっている不動産業の社員の話である

第2段落目

- 薄笑いを続けたまま語る社員。こんな社会は間違っている
- わずか20センチ隣に亡くなった方がいても3カ月も気づかずに放置されてしまう現実がある。「つながりの無さ、ここに極まれり」である
- ここまでつながりが分断された社会を生きたいと誰も望んでいないだろう

第3段落目

- 人とつながりにくい社会になったのか？その気になれば、取り組む機会は作り出せるのではないか
- 特に人口減少時代だからこそ、ふやさなければならない

各項目を要約して要点を並べるとこうなる(例)

『コミュニティデザインの時代』
山崎 亮 2012 中公新書

第一章 なぜいま「コミュニティ」なのか

1. 自由と安心のバランス

- つながりが分断された社会 → イントロこの節で言いたいことを予告 問題提起

お隣の部屋の住民の孤独死に気づかない関係が増加

それを平然と(?)説明する不動産会社の職員。私たちの望んだ社会なのか?

昔はよかったのか?

- つながりの中に生きる社会

→そもそも人は協力して生きてきた。役務提供、労働の提供による街づくりの場面が多かった

- 「つながり」と「しがらみ」 → つながりの深さは、時として「窮屈」に

必ずしも良いことばかりではなかった

- 「お客さん化」する社会 → 明治時代以降、税を徴収して、それが「公共工事」などプロがやるようになる。人は労力を提供しないで「税」を払うことで街づくりが進められる。自分の手から離れていく。町役場の「すぐやる課」はいかがなものか(行政の一人相撲では?)

「あなたと一緒にすぐやる課」であるべき

- 「活動人口」という考え方を解説

→ 孤独死の背景を説明し、地方にもその問題が襲ってきていると指摘。

第一章 なぜいま「コミュニティ」なのか

2. 街が寂しくなった理由

『コミュニティデザインの時代』
山崎 亮 2012 中公新書

- 活動の屋内化とコミュニティの弱体化
- 公共空間をどうするか
- 新しいコミュニティが関わる仕組みを作る(項目内の文章が長い場合は、
段落ごとに分解していく(最初の文章から引き出す))

項目の書き出しをして
から要点を記載する

段落①兵庫県立有馬富士公園のパークマネジメント事例紹介

段落② // のまとめ

鹿児島市のマルヤガーデンズの事例紹介

段落③ // のまとめ

宮崎県延岡市の事例

段落④ 大阪天王寺市の近鉄百貨店の事例

段落⑤ 大阪市北加賀屋地域の事例

段落⑥ 不動産を活用した街の活性化の考え方を歴史的に紹介

段落⑦ 佐賀市の事例→複数の空き地を同時に活用する方法論

ここは、事例紹介の項目なので、事例の場所を抽出して列記し、どんな事例か1行程度説明する。冊子の文末に事例紹介のページがあるので参考にする

地域が元気になるアイデア、他地域の事例を探す

テキストの事例に類似したものはあるか。さらに興味深い事例がないか

- 内閣府地方創生のサイトで事例を確認する

→表頭にある「事例・分析」タブに進む

ここには、地方創生交付金の採択事例や紹介事例がある。

簡単に紹介されているものが多いので、関心を持った事例については、別に検索して調べる

[HTTPS://WWW.CHISOU.GO.JP/TIIKI/TIIKISASEI/INDEX.HTML](https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/index.html)

- RESAS政策提案コンテストの入賞作品を見る→昨年の東北からの入選例は次頁～参照
→構想段階で表彰されているもの。アイデアとして参考になる。毎年開催。今年度の募集の下に過去の受賞例がある。

[HTTPS://CONTEST.RESAS-PORTAL.GO.JP/](https://contest.resas-portal.go.jp/)

- AIに聞く

→検索結果で興味のある事例について、自分で検索してさらに調べる。自分の関心のある地方創生事例のテーマ等、絞り込みのためのキーワードをいくつか抽出しておく。

リンクを開くかどうかは、出典が信頼できるサイトかどうかアドレスを確認すること

地方創生☆政策アイデアコンテスト（昨年度の概要）



地方創生☆政策アイデアコンテスト



未来を創るアイデア募集！
もっと住みやすいまちへ
データ分析×ひらめきで

地方創生☆政策アイデアコンテスト2025を開催！

地域経済分析システム（RESAS）等を活用し、
地域課題の分析を踏まえた政策アイデアを募集するコンテストです。
あなたが大切に思う地域の未来を
より良くする政策アイデアをご提案ください！
学生や地方公共団体職員、民間企業の方など、どなたでもご応募が可能です。

募集期間 2025年6月10日(火) ▶ 9月25日(木)

表彰区分	最終審査会・表彰式
● 地方創生担当大臣賞 ● 優秀賞 ● 経済産業局長賞、沖縄総合事務局長賞 ● 協賛企業賞	日時: 2025年12月上旬(予定) 会場: 都内およびオンラインによるハイブリッド開催 ※詳細が決定次第、「地方創生☆政策アイデアコンテスト」公式サイトにて公表いたします。 ※当日、会場の様子をインターネットでライブ配信いたします。

募集の詳細、
応募はこちら

地方創生☆政策アイデアコンテスト 検索
<https://contest.resas-portal.go.jp>

応募方法については下記からご確認ください
<https://contest.resas-portal.go.jp/entry.html>

お問合せ先
地方創生☆政策アイデアコンテスト2025 事務局
(委託事業者: 株式会社エイチ・アイ・エス)
TEL/050-1748-5621(直通) 10:00~18:00(土日祝、年末年始を除く)

RESAS Portal で検索!!
主催 / 内閣府地方創生推進室 共催 / 経済産業省

- ・内閣府地方創生推進室及び経済産業省では、RESASやRAIDA等を活用した地域課題の分析を踏まえた、地域の未来をより良くする政策アイデアを募集するコンテストを毎年開催。
- ・高校生以下の部、大学生以上一般の部の2部門でアイデアを募集。

政策アイデアの例

- ・地域経済を〇〇で元気にする
- ・地域の問題を〇〇で解決する
- ・アプリを活用して、地域の魅力を伝える
- ・地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する 等

審査のポイント

- ・地域の地方創生に資する有効性の高い政策アイデアであること
- ・RESAS等を活用したデータ分析を行っていること
- ・地域全体を巻き込んだ構想となっていること 等

東北ブロックの受賞作品

【高校生以下の部】

- ・デジタル×観光で花巻に革命を/岩手県立花巻北高等学校 revolutions
→協賛企業賞

【大学生以上一般の部】

- ・福島県田村市における再エネを活用した分散型エネルギーシステム構築の提案 / 獨協大学経済学部国際環境経済学科 / 米山ゼミ地球温暖化防止プロジェクト
→協賛企業賞

詳細はこちらから

<https://contest.resas-portal.go.jp/>

地方創生☆政策アイデアコンテスト2025 局長賞 高校生以下の部

【タイトル】 廃校を宿泊施設に！在りし日の青春を取り戻せ！

【所属（チーム名）】学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校岩手盛岡キャンパス（岩手盛岡キャンパス）

【分析地域】岩手県山田町

【地域の課題】 岩手県山田町は、すずめの戸締まりの舞台モデルになるなど、ロケーションが良くイベントに活用できる地域である。一方、人口減少及び少子高齢化が進んでおり、小学校の廃校数が年々増加しているという課題がある。（岩手県は全国で２番目に廃校数が多い）

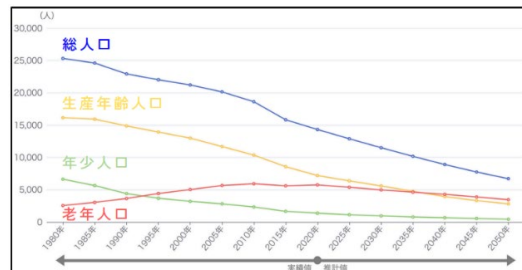
【政策アイデア】 廃校を有効活用するアイデアとして、大船渡市で実施している「三陸アクティブ」の活用例を参考に、廃校を宿泊施設兼イベント施設にリノベーションするアイデアを提案する。リノベーション対象施設は、2024年7月31日に閉校し、譲渡条件を「地域の振興及び活性化に繋がる提案」として活用用途を募集している山田町立旧山田小学校を候補とする。また、イベントは学校ならではの大人による大人のための文化祭や体育祭などを企画し、夏から秋の期間は宿泊施設としても活用する。

今後は、現地調査や地域住民との意見交換を実施するとともに、国の助成制度（みんなの廃校プロジェクト）やクラウドファンディングなどを活用してリノベーション費用を調達し、本アイデアの実現による**観光業・建設業の需要増加及び雇用創出**を図り、山田町の活性化を目指す。

山田町のロケーション



山田町の人口分析



公立学校の都道府県別廃校発生数

資料 2

公立学校の都道府県別養育生数（平成18年度～令和5年度）

養育生

都道府県	小学校	中学校	高等学校等
北海道	237	77	25
青森県	235	18	21
岩手県	196	8	13
宮城県	207	54	21
秋田県	188	48	22
山形県	168	45	13
福島県	218	141	18
茨城県	189	29	12
栃木県	146	48	28
群馬県	141	42	21
埼玉県	117	81	36
千葉県	169	45	25
東京都	112	31	11
新潟県	147	53	26
富山県	161	44	23
石川県	141	28	23
福井県	111	41	29
山梨県	124	37	21
長野県	118	24	16
岐阜県	119	23	16
静岡県	88	43	45
愛知県	111	14	14
岐阜県	107	24	14
三重県	145	38	43
滋賀県	88	29	26
京都府	126	26	10
大阪府	42	26	11
兵庫県	101	21	22
奈良県	65	26	17
和歌山県	83	29	23
徳島県	57	31	43
香川県	65	27	21
高松市	79	34	24
愛媛県	64	26	21
高知県	73	23	21
佐賀県	77	17	14
福岡県	77	16	14
大分県	63	17	16
熊本県	53	14	14
鹿児島県	53	14	14
沖縄県	53	14	14
東京都	112	31	11
千葉県	169	45	25
埼玉県	141	42	21
群馬県	146	48	28
栃木県	189	29	12
茨城県	218	141	18
山形県	188	48	22
秋田県	207	54	21
岩手県	196	8	13
青森県	235	18	21
北海道	237	77	25

8,850

0 100 200 300 400 500 600 700 800 900

養育生

■ 小学校
■ 中学校
■ 高等学校等

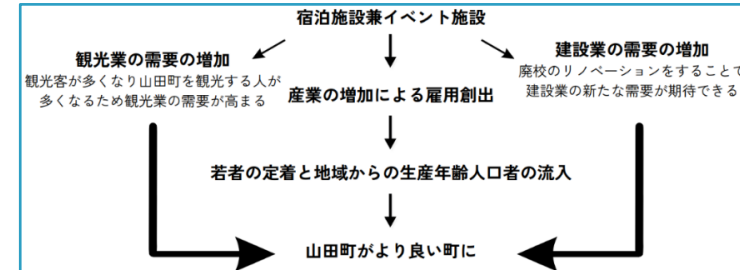
三陸アクティブ※大船渡市の事例



リノベーション対象施設 ※旧山田小学校



期待される効果



地方創生☆政策アイデアコンテスト2025 局長賞 大学生以上一般の部

【タイトル】「越境共創」から始まる地域の未来 -境界を越えて、栗登一平が共に創る新しい価値のデザイン案-

【所属（チーム名）】株式会社フォーバル、島田制作合同会社、株式会社Next IWATE（チームきづなPARK）

【分析地域】岩手県一関市・平泉町、宮城県登米市・栗原市

【地域の課題】宮城県北部と岩手県南部にあたる「栗登一平」は、県境を越えて共通した地域課題解決に向けて連携している地域である。当エリアでは特に生産年齢の人口減少の勢いが加速する推計であり、人口増加と労働生産性向上の施策が急務である。また、産業の特徴として、「農業」の生産額が高く、田耕地面積と農業経営体数（稲）が全国上位に入っている。一方、「農業」は他産業と比較して労働生産性が低い傾向にあり、全国的にも同じ課題を抱えている。

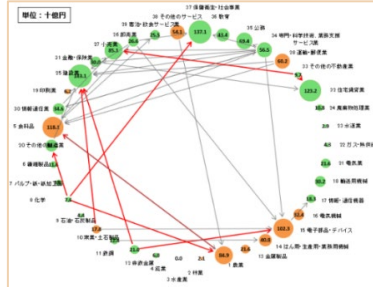
【政策アイデア】栗登一平で農業の労働生産性向上のモデル作りを実施するとともに、実現に向けて推進するハブ（組織・人材）を確保・育成するランドデザインを提案する。

- ① **モデル作り**：農業分野におけるドローンの活用により、労働時間の削減を図る。先行のドローン導入効果事例をもとに栗登一平に導入した場合の試算を行ったところ、220,000時間以上の作業時間（約111人の年間労働力）の削減につながる可能性を確認。
 - ② **ランドデザイン**：試算効果の実現に向けて、域内事業者の経営情報を可視化・集約し、伴走支援する人材（栗登一平企業ドクター）の確保及び育成を検討するとともに、伴走支援に活かすための情報プラットフォームを構築する。
- 今後は、ランドデザインをもとに事業者のDX進捗度の収集トライアルを開始する。そして、将来的には栗登一平モデルを確立して他地域に横展開することで、地方創生を目指す。

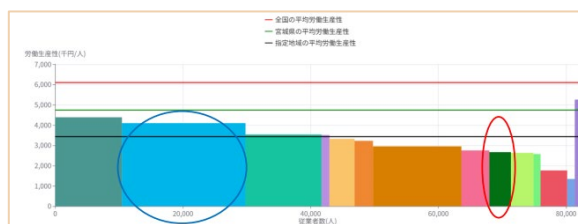
栗登一平



栗登一平の産業連関



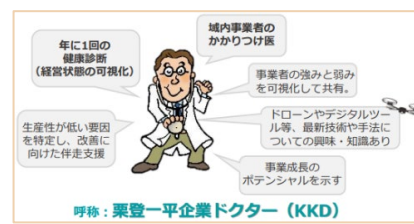
栗登一平の労働生産性



先行事例



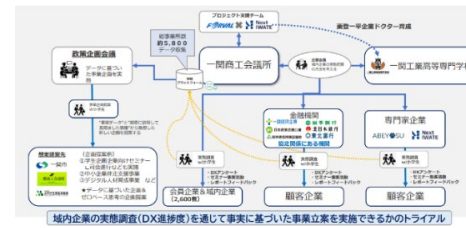
伴走支援する人材（栗登一平企業ドクター）



情報プラットフォーム



情報収集トライアル



この続きは皆さんで分担して輪読していきます。
みんなで協力し、地方再生のための解決策を
考えていきましょう！